

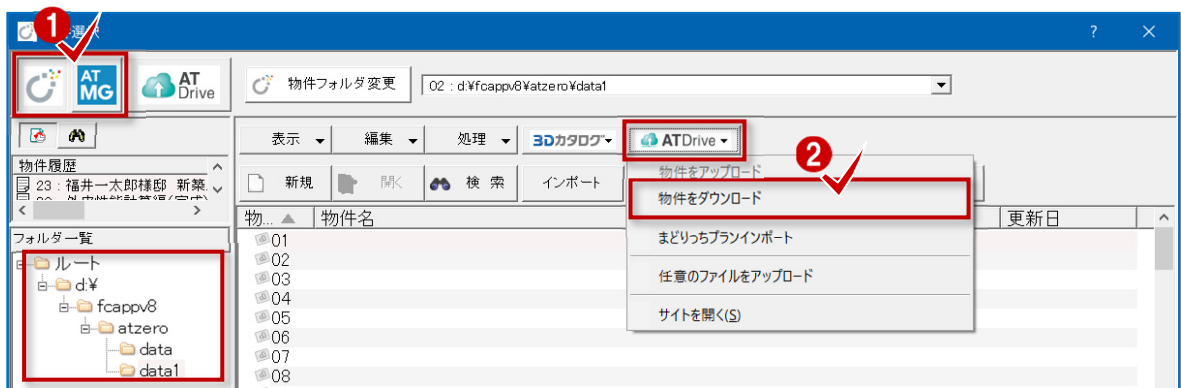
ATDrive からダウンロード（エクスポート）

ARCHITREND ZERO Ver8

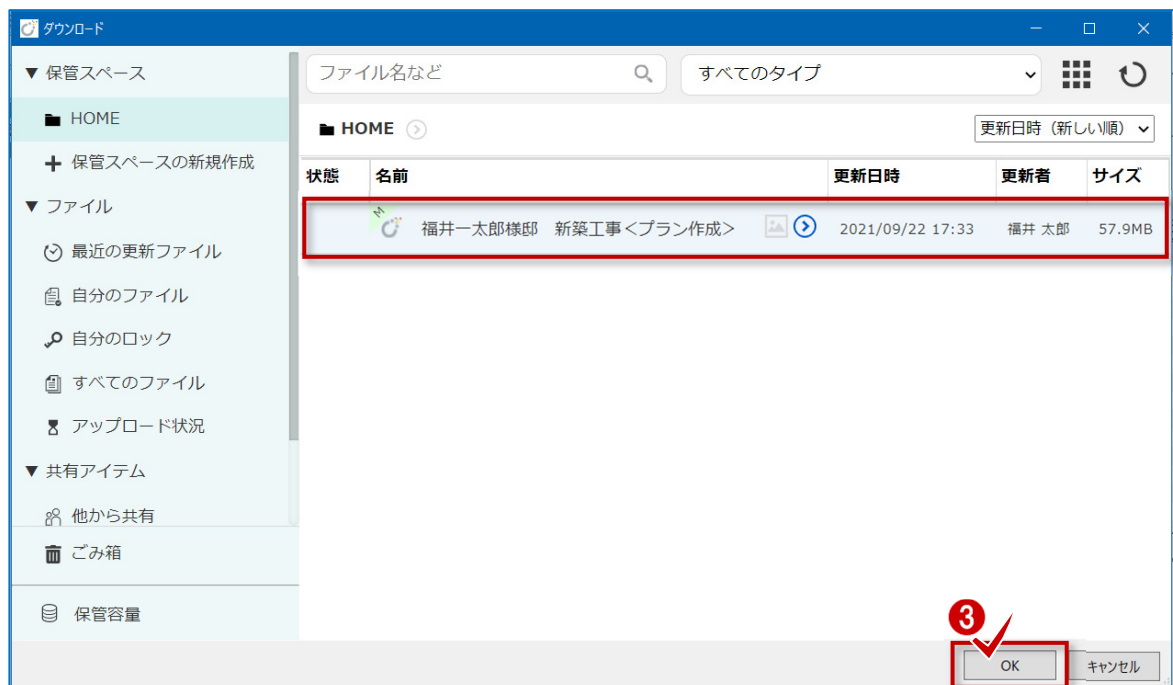
ATDrive にある物件をそのまま開ける状態（ダイレクト）で、ローカルドライブへダウンロード（または圧縮ファイルでエクスポート）します。

物件をダウンロード

- 1 ローカルデータ一覧（[ZERO] [ATMG]）のダウンロード先フォルダを選択します。
- 2 「ATDrive」メニューの「物件をダウンロード」を実行します。

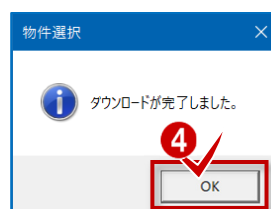


- 3 ATDrive 画面が表示されますので、物件を選択して「OK」でダウンロードを開始します。



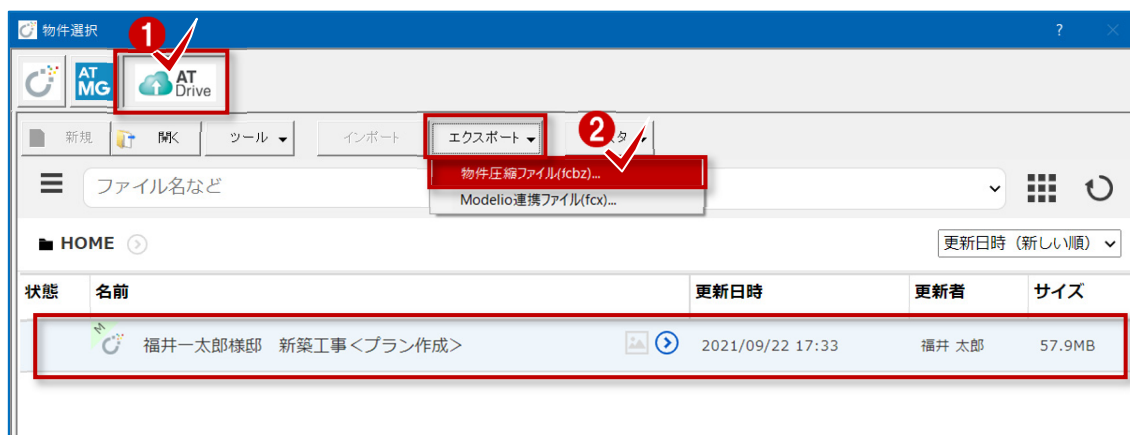
- 4 ローカルドライブへのダウンロード完了のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

物件一覧の最初の空き欄に登録されます。



物件をエクスポート

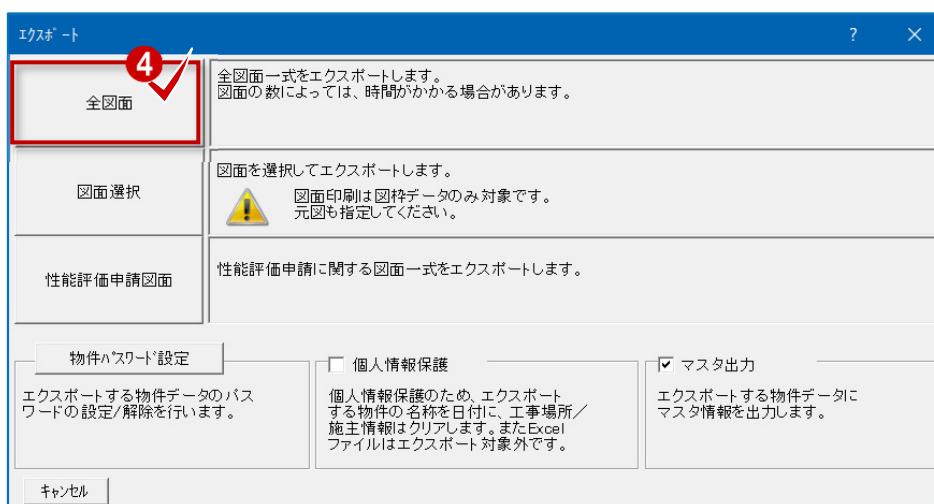
- 1 圧縮ファイルとしてダウンロードする場合、ATDrive 一覧 ([ATDrive]) から物件を選択します。
- 2 「エクスポート」の「物件圧縮ファイル (fcbz)」を実行します。



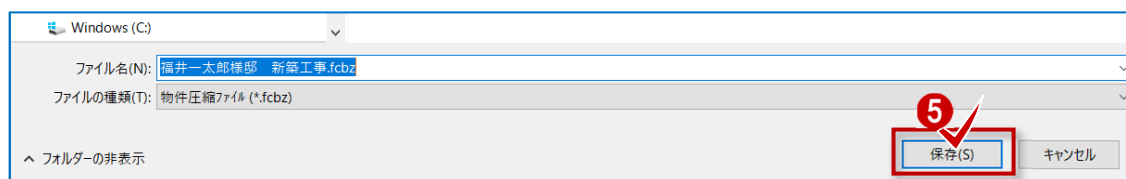
- 3 「→このPC」を選択します。



- 4 「全図面」をクリックします。

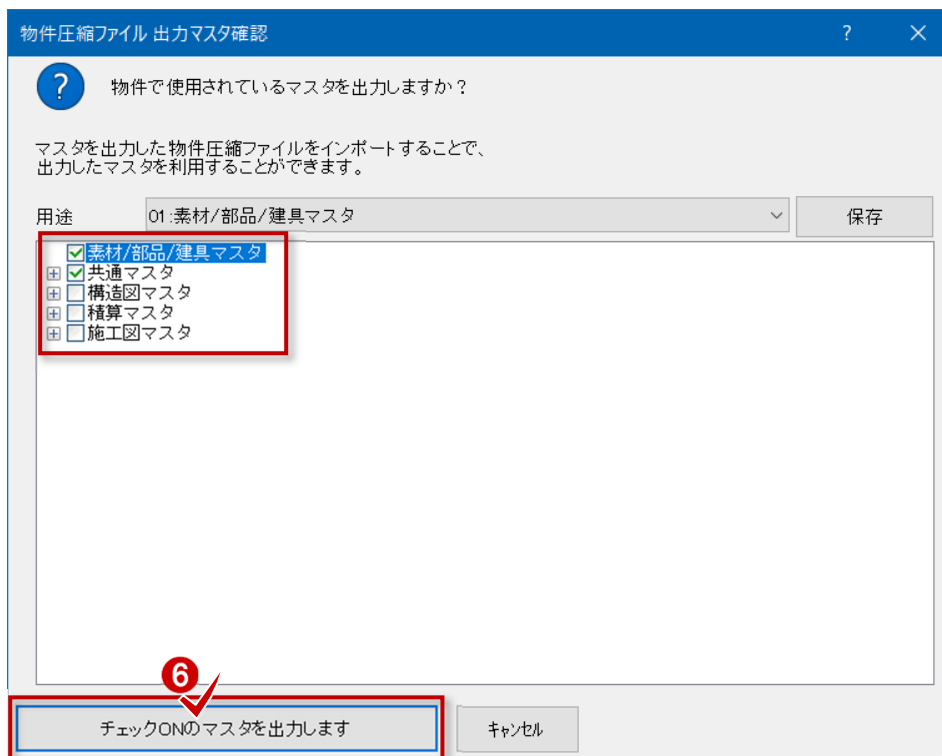
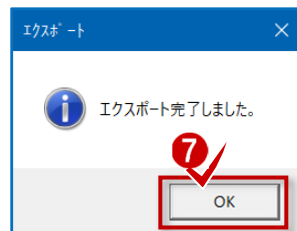


- 5 保存先、保存ファイル名 (.fcbz) を確定したら、「保存」をクリックします。



6 物件にマスタを添付してエクスポートします。

ここでは、3DC マスタと ZERO 共通マスタを有効にして「チェック ON のマスタを出力します」をクリックします。

**7** ローカルドライブへのエクスポート完了のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。**【エクスポートした場合のデータ取り込み】**

エクスポートした物件ファイル（専用圧縮ファイル）は、インポートを使用して物件一覧に取り込みます。

ARCHITREND Modelio Ver7.1

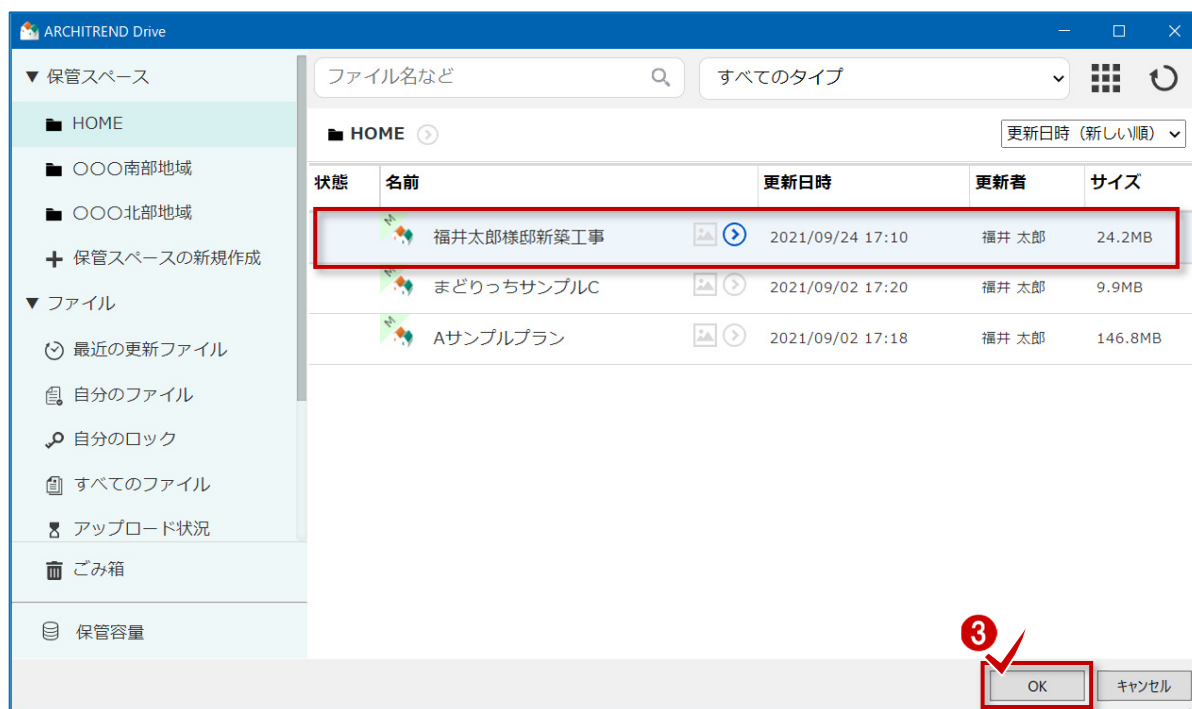
ATDrive にあるプランをそのまま開ける状態（ダイレクト）で、ローカルドライブへダウンロード（または圧縮ファイルでエクスポート）します。

プランをダウンロード

- ① ローカルデータ一覧（[Modelio] タブ）のダウンロード先フォルダを選択します。
- ② 「ATDrive」メニューの「プランをダウンロード」を実行します。



- ③ ATDrive 画面が表示されますので、プランを選択して「OK」でダウンロードを開始します。



- ④ ダウンロード完了のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。
ローカルドライブの物件一覧の最初の空き欄に登録されます。



プランをエクスポート

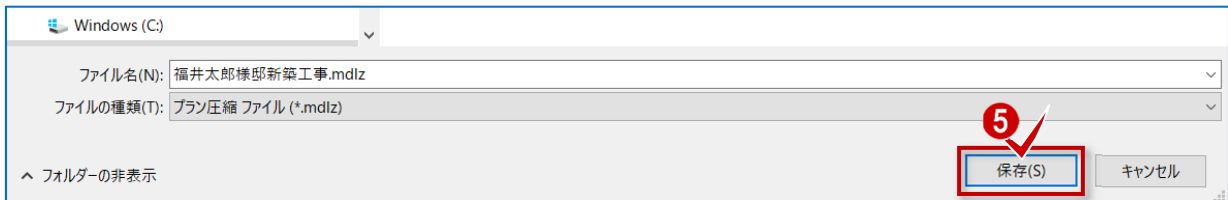
- ① 圧縮ファイルとしてダウンロードする場合、ATDrive 一覧（[ATDrive] タブ）をクリックします。
- ② ATDrive 一覧から物件を選択します。
- ③ 圧縮ファイルとして保存する場合、「エクスポート」を実行します。



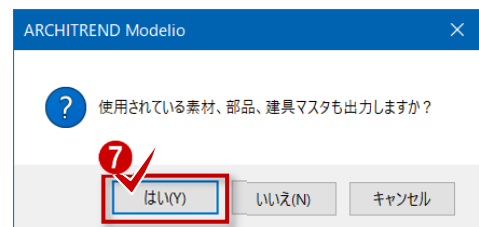
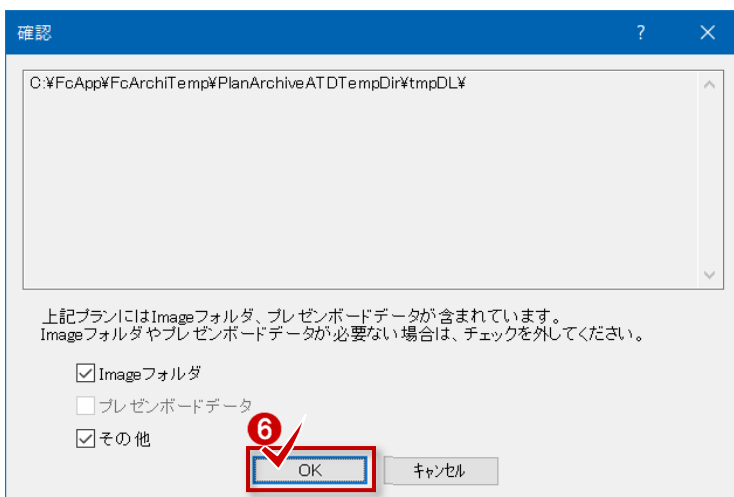
- ④ 「→このPC」を選択します。



- ⑤ 保存先、保存ファイル名 (.mdlz) を確定したら、「保存」をクリックします。



- ⑥ Image フォルダ、プレゼンボード等のデータが収納されている場合、チェックオンを確認して「OK」をクリックします。
- ⑦ 建材マスタも出力するため、「はい」をクリックします。ローカルドライブへのエクスポートが完了します。



エクスポートしたプランファイル（専用圧縮ファイル）は、インポートを使用してプラン一覧に取り込みます。

WEB 申請書（申プロ形式 xml／申請図書・図面等）

WEB 申請書作成（ATDrive）にある各申請ファイルをローカルドライブへダウンロードします。

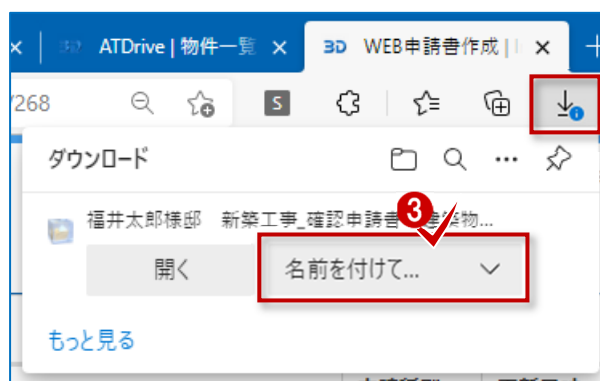
申請用の各ファイルをダウンロード

- 1 WEB 申請書作成システムから、目的の申請書のツールメニューを開きます。（📄 をクリック）
- 2 申請用の各ファイルをダウンロードするメニューから目的の書類等を実行します。



- 3 「名前を付けて保存」よりローカルドライブへ保存します。

※以降は各ブラウザの機能のため、操作はブラウザまたはバージョンにより異なります。（画面例は Microsoft Edge）



【申請物件・関係者データ】

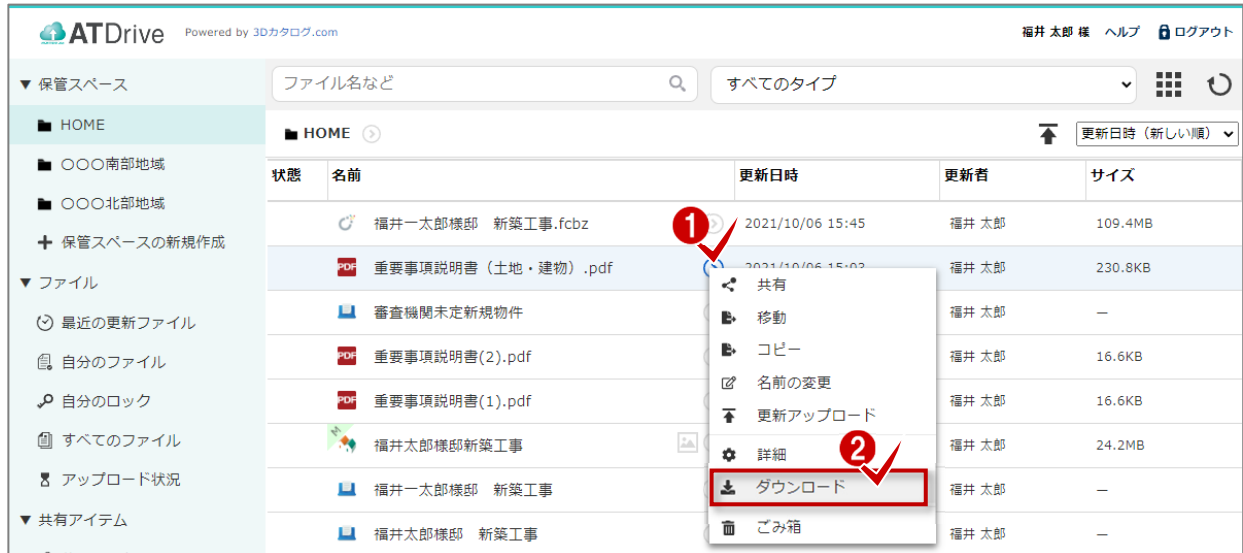
申請物件や関係者の情報は、現在ダウンロードすることができません。再度編集可能な状態にするには、システムへデータを再入力することになります
 お手数ですが、アカウントが使用不可となっても無関係な画面スクリーンショット、あるいは、テキストをコピー＆ペースト等で保存してください。

ATDrive

ATDriveにある単独ファイル（pdf、ppt、xlsx など）をローカルドライブへダウンロードします。

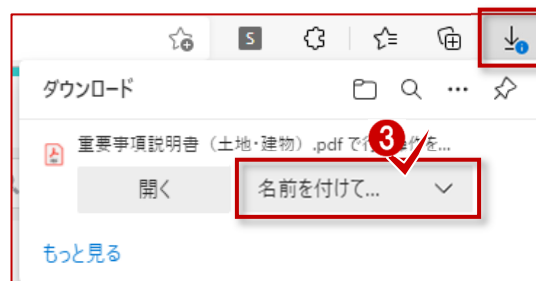
任意のファイルをダウンロード

- 1 ATDrive から、目的のファイルのツールメニューを開きます。（👉をクリック）
- 2 「ダウンロード」を実行します。



- 3 「名前を付けて保存」よりローカルドライブへ保存します。

※以降は各ブラウザの機能のため、操作はブラウザまたはバージョンにより異なります。（画面例は Microsoft Edge）



【ブラウザのセキュリティ】

ブラウザのセキュリティのため、ダウンロード時にブロックされる場合があります。
 こちらを参考にダウンロードを進めてください。→[参照「ファイルダウンロード時の警告」](#)